

雨の日は紙の匂ひが深まれり

湖底のやうな小さき古書店

新潟

滝沢三枝子

ちちのみの父のちからの名残なる

砥石のくぼみに指をふれたり

東京

大山園枝

農大生の友と歩けば

土手に咲く花は次々名をもらひたり

東京

吉田久枝